

小樽市健康増進計画(第2次健康おたる21)概要

計画期間:平成25年度～34年度までの10年間

小樽市健康増進計画の趣旨

小樽市の最も大きな健康課題として、がん、心臓病、脳卒中などによる死亡率が全国よりも高いことがあげられます。

本計画は、ライフステージに合わせて、これらの疾病を予防するとともに発病した場合であっても重症化しない健康づくりについて、家庭、地域、学校、関係団体、職場・企業、行政などが相互に連携して進めていくための行動指針として策定するものです。

(小樽市健康増進計画
「第2次健康おたる21」P3)

施策の基本方針

年齢、病気や障害の有無にかかわらず、家庭、地域、学校、関係団体、職場・企業、行政などが相互に連携して、健康になろうと思う市民を増やし、個々の健康観に基づいた健康づくりを進めることを目指します。

本市の疾病特性から、がんの予防、また、脳卒中、心疾患、糖尿病などの生活習慣病の予防、重症化予防を重点的に取組むとともに、心や歯の健康、さらに感染症から身を守る取組、次世代の健康づくりを推進します。また、国の基本的な指針との整合性を図ります。

(小樽市健康増進計画
「第2次健康おたる21」P32)

【評価会議の役割】

健康増進計画の進捗管理、施策実施状況の評価

平成29年度は、後期計画策定のため、3回の会議を開催したが、平成30年度以降は、年1回会議を開催し、前年度の評価を実施する。



